

シンガポール卓球協会と東京五輪事前合宿覚書を締結

◎観光課 ☎36・7214

6月12日、市とシンガポール卓球協会は、2020年東京オリンピックに向けた事前キャンプに関する覚書(基本合意書)を締結しました。

合意書には、キャンプ中のトレーニング場や宿泊場所などを市が提供することや、選手が市民との交流に努めることなどが盛り込まれました。シンガポール卓球協会のエレン・リー・ソクフン会長は「実りある連携が、この先も長く続くよう願う」と述べました。

締結式の前には、シンガポール代表選手と市内中高生による1ポイント

市内高校生が「お仕事紹介」ラジオ番組を制作

◎戦略推進課 ☎36・7120

F M島田では、市内5校の高校生が地元企業を紹介する番組を制作しています。

番組タイトルは「高校生、島田のお仕事現場に行く!」。第1回目の収録では、矢崎計器(株)島田製作所を訪問。5人の生徒が、同じ世代の若者に、将来島田で働く姿をイメージしてもらおうと、現場から生の声を伝えていきます。

放送は、毎月第4日曜の午前10時10分から20分間。F M島田76・5MHz、

チャレンジマッチや、県代表選手とのエキシビジョンマッチを開催。数々の鋭い打球に、歓声が上がりました。



(左から) ウォン CEO、リー会長、染谷市長

またはF M島田ホームページのサイマル放送で聞くことができます。



生徒たちが仕事現場でインタビュー

ドローン隊「しまだグリーンホーネット」発足

◎危機管理課 ☎36・7320

市では、所有するドローン3機をさまざまな分野で活用するため、ドローン隊「しまだグリーンホーネット」を組織し、6月19日に発足式を島田球場で行いました。

同隊には職員5人が所属し、防災だけでなくPR動画の撮影や、施設の点検などを行う予定。さらに活動の幅を広げるため、職員向けの操縦者養成講座を開き、隊員の育成を進

賑わい交流拠点の包括連携協定を締結

◎内陸フロンティア推進課

☎36・7125

6月29日、島田市・大井川農業協同組合・大井川鐵道(株)・中日本高速道路(株)の4者は、新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺に整備を計画している「賑わい交流拠点」について、包括連携協定を締結しました。

この協定では、4者の役割を明確にし、今後はそれぞれの強みを生かしながら、整備を進めていきます。

大井川農協の池谷薫代表理事組合長は、「この地にきてよかった、もう一度来たい」と思えるまちづくりをしていきたい」と、事業への意欲を見せました。

めていきます。
染谷市長は訓示で「災害時は正確な情報収集が大事。ドローンは大きな力を発揮する」と期待を込めました。



ドローンを操縦する隊員

賑わい交流拠点は、2020年春ごろのオープンを予定しています。



(左から) 大井川鐵道鈴木肇社長、染谷市長、大井川農協池谷組合長、中日本高速道路三宅広通部長